



55人の経営支援員は地域の小規模・中小企業の経営改善と持続的発展に向け、支援を行っています。経営者とのコミュニケーションをしっかりと取りながら、課題の解決とさらなる発展に向けた支援活動を展開中。

## 加工の技術を ギターの調べに乗せて

補助金制度などを活用し、私たちの強みを積極的にアピールしていきたいですね。当社のウェブサイトをもさらに充実させて、京都初のファイバーレーザー溶接機でどんなことができるのか情報発信したり、リゾネーターギターのオンライン販売にも取り組んでみたいと考えています。

### 技術力を磨いて付加価値を発信

今から5年ほど前、京商の支援で補助金が採択され、新しくパイプ加工の機械設備を導入しました。当時、製缶、板金からパイプ加工まで幅広く事業展開する企業は少なく、パイプ加工に新たな可能性を感じたため、事業拡大を決意しました。

現在、「パイプ加工 京都」でインターネット検索すると、当社ホームページが上位に表示されるようになり、お客様のすそ野が広がったと実感しております。

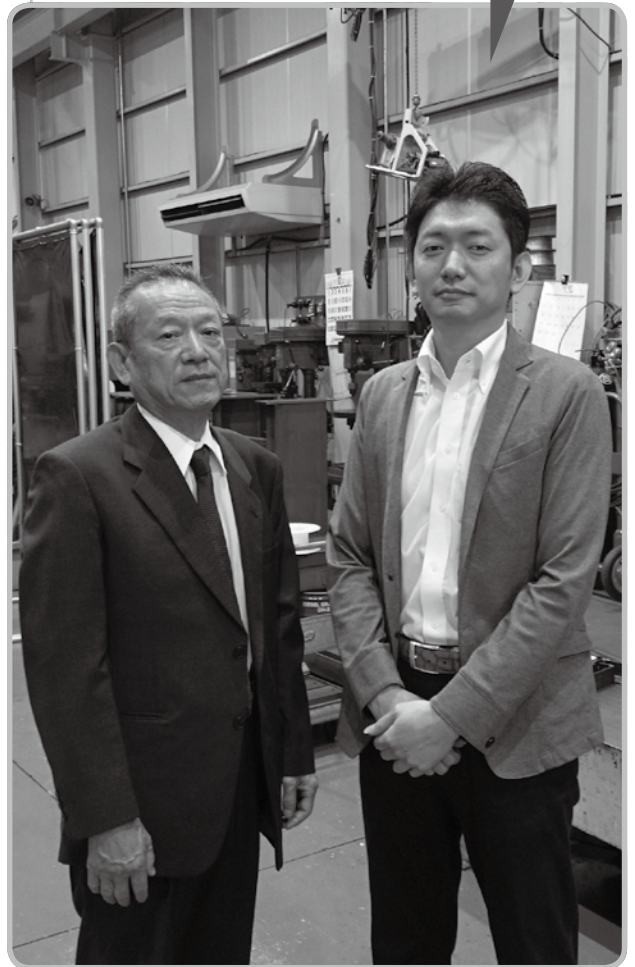
市場競争が激しくなる昨今、価格だけでなく当社の付加価値を発信するため、専務が中心となって、リゾネーターギター\*を試作開発しました。最初は遊び心で作ったのですが、ビジネスフェアやサウンドメッセでたいへん好評だったことから、販路開拓について京商に相談。経営支援員のアドバイスを受け、「経営力向上計画」の作成にチャレンジすることになりました。

\*木と金属の素材を組み合わせたギターで、独特の透き通った音色が特徴。

### 最新設備の導入で受注拡大

「経営力向上計画」の認定を受ける中で、どのように私たちの強みを活かし、他社との差別化を図っていくかを明確にできました。産業用機械の加工では、多品種・小ロットへの対応だけでなく、高品質、かつ見た目の美しさにこだわるお客様が増えています。こうした要望に対して、当社では、今年、京都で初めてとなる「ファイバーレーザー溶接機」の導入が決定しています。溶接機の導入により、ステンレスとアルミなど、従来は難しいとされてきた異なる種類の金属溶接のほか、低歪・高精度で、痕が目立たない美しい溶接が可能となります。リゾネーターギターの量産化はもちろん、高い加工技術を武器に、“攻めの姿勢”で既存事業でのさらなる受注を目指していこうと考えています。

課題に応じて、適切な提案をしてくれるのが京商の魅力！ 今後も、様々な支援メニューを活用しながら、新しいことにどんどん挑戦していきたいですね。



代表取締役 石田満勇さん(左)と専務取締役 石田祐介さん

#### 企業概要



創業以来、製缶・板金・パイプ加工を中心に、多品種・小ロット・短納期のニーズに対応。お客様の課題を解決する提案型の加工が市場で高い評価を得ている。今年10月に、京都初となる最先端の溶接設備を導入。新開発のリゾネーターギターの量産化や既存事業の受注拡大を目指す。

#### 有限会社イシダ製作所

代表者／石田 満勇  
住 所／京都市伏見区久我西出町 10-2  
T E L／075-922-0435